

福井空襲について考える

町で暮らす普通の人たちも多くの被害を受けた戦争、空襲について考えてみましょう。



集められたお寺の鐘



空襲に備えての防火訓練

【戦時下の福井の様子】

?1 (左の写真を見て考えよう)
たくさん集められたお寺の鐘は、何に使うのでしょうか？

?2 (右の写真を見て考えよう)
ならんでいる人たちがもっている、棒のようなものとバケツは、どうやって使うのでしょうか？

福井空襲に関するアメリカ軍の記録

【空襲に参加した飛行機】

爆撃機 118機
先導機 12機
その他 3機 合計133機

【爆弾を落とした時刻】

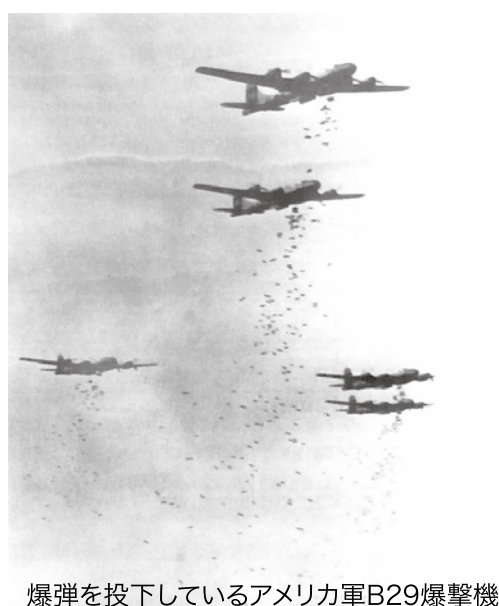
昭和20年(1945)7月19日
23時24分～20日0時45分
(81分間)

【福井の町の建物が破壊された割合】

84.8パーセント

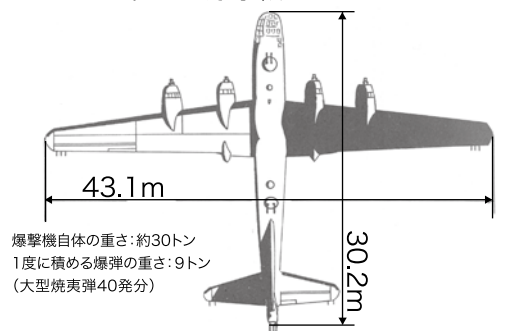
【落とされた爆弾】

焼夷弾(しょういだん) 約9,000発

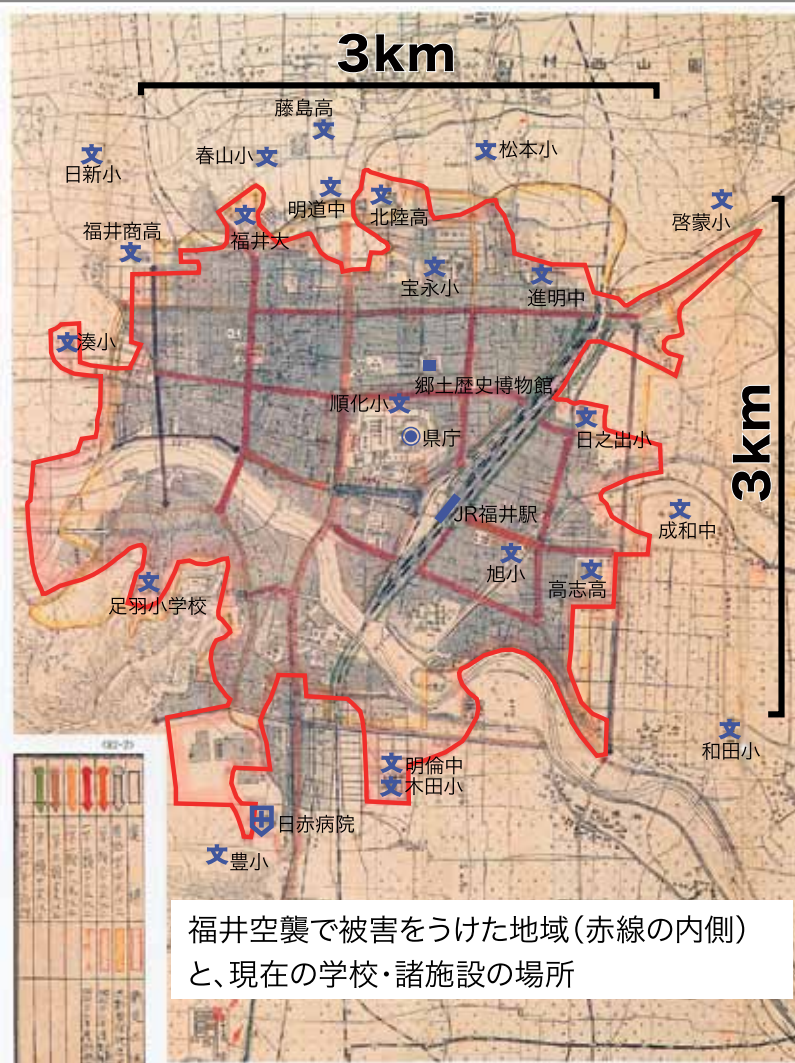


爆弾を投下しているアメリカ軍B29爆撃機

アメリカ軍B29爆撃機の大きさ



爆撃機自体の重さ: 約30トン
1度に積める爆弾の重さ: 9トン
(大型焼夷弾40発分)



福井空襲で被害をうけた地域(赤線の内側)と、現在の学校・諸施設の場所

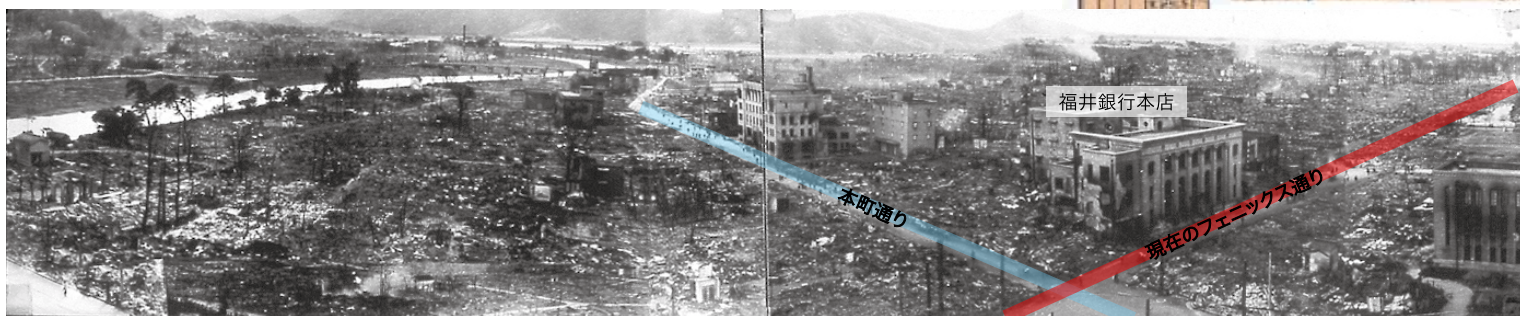
【福井空襲の被害】

?3 福井空襲で落とされた「爆弾」について、左の資料から分かったことを書いてみましょう。

?4 福井市が空襲で受けた被害について、左の資料から分かったことを書いてみましょう



5 左の資料や上で答えを出した問題をもとにして、福井空襲について説明する文を、下に続けて自分でつくっていきましょう。



空襲により焼け野原となった福井市中心部

福井駅へ

空襲で亡くなった人 1,576人
重傷を負った人 1,210人
軽傷を負った人 5,209人
(福井市復興本部援護課調査)

福井空襲は昭和20(1945)年7月19日の夜中に始まった。